

特別交換会参加者の記念写真



全国刀剣商業協同組合特別交換会

三月十七日、東京美術倶楽部において組合主催による特別交換会を開催しました。日ごろから組合の活動にご賛同いただいている組合員の方々の協力により、開催することができました。あらためて厚くお礼申し上げます。毎月十七日に行われている通常交換会ですが、三月は組合員以外の方々も客員として招待し、交流を通して業界のさらなる活性化と向上を目指しました。

また、特別交換会終了後は懇親会を催し、組合員・客員の方々の相互の親睦を深めていただきました。

通常交換会は午前十時の開始ですが、特別交換会は一時間遅らせ午前十一時の開会となりました。これは遠方からのご参加への配慮と、会終了後の待ち時間を少なくして懇親会場へ円滑に移動していただくためです。

客員も交えて八十名を迎え 特別交換会と懇親会を開催

交換会は清水理事長の挨拶の後、客員の方々の紹介で開会しました。関西からご参加いただいた客員の皆さんには、猿田理事を中心に声を掛けていただきました。

今回のご案内には、組合が事前に一般から買い入れた刀剣・刀装具類の出品リストを作成して同封しました。古刀の重要刀剣や、新刀・新々刀を代表する刀工の作品二十振と刀装具約二十点です。

そのためもあって注目度の高い交換会となり、八十名以上の参加で賑わうことになりました。なお、特別交換会の開催が昨年末の理事会で決議されてからは、出品点数を通常交換会よりも増やしていただけたように、全ての理事にお願いしてきました。客員の元気な買い方の声に他の出席者も同調し、特別交換会ならではのハイレベルな相場となり、刀剣価格が安定期から上昇期にあることを感じずにはい

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL



2018.5.15 No.41
 発行人 清水 儀孝
 発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会
 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
 新宿スカイプラザ1302
 TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
 http://www.zentoshou.com/

第41号編集担当 赤荻 稔 飯田 慶雄
 伊波 賢一 大平 岳子 大平 将広 木村 義治
 佐藤 均 嶋田 伸夫 清水 儀孝 生野 正
 瀬下 明 土子 民夫 網取 譲一 土肥 富康
 服部 暁治 松本 義行 冥賀 吉也 持田 具宏
 編集顧問/ 深海 信彦

資格認定事業担当 赤荻 稔 飯田 慶久
 伊波 賢一 大平 岳子 大西 康一 木村 義治
 佐藤 均 猿田 慎男 嶋田 伸夫 清水 儀孝
 生野 正 瀬下 明 土子 民夫 網取 譲一
 土肥 豊久 服部 暁治 深海 信彦 松本 義行
 冥賀 吉也 持田 具宏 吉井 唯夫

全国刀剣商業協同組合は創立から30年を迎えました。そこで「組合30年の歩み」を企画しています。組合の行事や歴史に関わる写真や資料をお持ちでしたら、ぜひご提供をお願いします。



特別交換会風景

全刀商の特別交換会・懇親会に参加して

全国刀剣商業協同組合の発足三十周年に当たる平成三十年三月十七日、東京美術倶楽部で開催された特別交換会に参加してまいりました。この日は大会ということでも、多くのお客さまをお迎えして、盛大なものでした。売り手・買い手ともに力のこもった激しいセリに緊張感がみなぎり、時には冗談や笑いの飛び交う「これぞ刀剣会！」と言わぶき空気が漂っていました。私はこの全刀商に入会をお許しいただき、はや一年になりました。キャリアも実力も乏しいながら参加していますが、この雰囲気大好きです。一刻も早く

ウエートが大きいために、価格は常に経済に左右されており、交換会の相場は経済を見る一つのバロメーターともなっています。交換会において刀剣類の相場感を養うことは、刀商のさらなる社会的地位の向上を目的として始動した刀剣評価査定士の認定を受ける重要な部分を占めています。

売り手と買い手のプロが、ガツプリ四つに組み、新たな客員

とができました。これからの仕事へのアドバイスまでご教授いただき、一方では楽しいお話しに抱腹絶倒と、あっという間の二時間でした。

これほどの大会を運営するのは並大抵のことではないと思います。やはり理事の皆さま、諸先輩方の企画・行動あってのことです。

最後になりましたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。あらためてお礼申し上げます。

そして、全国刀剣商業協同組合の栄誉をお祈りいたします。(美術刀装具石井・石井理子)



盛会だった懇親会

刀剣・書画・骨董
和敬堂
 土肥豊久・土肥富康
 〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16
 TEL 0258-33-8510
 FAX 0258-33-8511
<http://wakeidou.com/>

美術刀剣・刀装小道具商
やしま
 齋藤雅稔・隆久・隆洋
 刀装小道具通信販売目録「やしま」
 年間10回位発行予定
 購読料10回 2,000円(郵便切手可)
 〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10
 TEL 042-463-5310
 FAX 042-463-7955

金工・刀身彫刻・修理・諸工作式
柳匠堂
柳村宗寿
 岡山市北区平和町二一八
 TEL 〇八六二二二二二二二
 工房 岡山市北区磨屋町七二二
 TEL 〇八六二二二二二二二
 FAX 〇八六二二二二二二二

刀剣古美術
三峯美術店
町田久雄
 埼玉県秩父市野坂町一六六一
 西武秩父駅連絡通路町久ビル内
 TEL 〇四九四二二二二二二
 FAX 〇四九四二二二二二二

美術刀剣、小道具、武器類の
 売買、加工及び御相談承ります
大阪刀剣会
吉井唯夫
 大阪市中央区日本橋二一七
 TEL 〇六一六六三一三二二〇
 FAX 〇六一六六四四一五四六四

(2)

平成30年5月15日発行(隔月刊)

刀 剣 界

第41号

出題は全 100 問。1 時間取り組んで 80 問以上正しく答えられたら合格です。(正解は下欄)

「刀剣評価鑑定士」紙上模擬試験

【問54】 容彫りとは、主にどの刀装具に使われる名称か。次の中から正しいものを選びなさい。
①目貫 ②鐔

【問55】 江戸時代中期から後期にかけて栄え、代々の嫡流が味墨の号を用いた金工一派は何家か。次の中から正しいものを選びなさい。
①浜野家 ②菊岡家

【問56】 蝶番を使わないものはどれか。次の中から正しいものを選びなさい。
①二枚胴具足 ②大鎧

【問57】 兜と胴の間に装着される防具で顔面に装着しないものはどれか。次の中から正しいものを選びなさい。
①眼の下頬当て ②喉輪

【問58】 1 領の当世具足に対し、同一デザイン・同一寸法の鎧櫃が 2 つ付属する例がある。次の中から正しい呼称を選びなさい。
①一荷櫃 ②二荷櫃

【問59】 次の甲冑師集団のうち、九州で活躍したのは何派か。正しいものを選びなさい。
①早乙女派 ②宮田派

【問60】 現存する火縄銃の中で最も多数を占めている製作集団は何家か。次の中から正しいものを選びなさい。
①阿波系鍛冶 ②国友系鍛冶

【問61】 管打式和銃はいつごろ製作されたか。次の中から正しいものを選びなさい。
①慶長のころ ②安政のころ

【問62】 登録証に記載されている火縄銃の口径の寸法はどこを測るか。次の中から正しいものを選びなさい。
①口径の内寸 ②口径の外寸

【問63】 日本国内において初めて火縄銃を紹介したのは何国人か。次の中から正しいものを選びなさい。
①スペイン人 ②ポルトガル人

【問64】 兜は必ず鉄製である。○か×か。

【問65】 戦術の変化、武器の進歩、西洋甲冑の影響などの要因により室町時代後期から安土桃山時代にかけて生まれた甲冑を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
①胴丸・腹巻 ②当世具足

【問66】 刀匠になるためには、一人の刀匠について() 修業する必要がある。さらに文化庁が主催する美術刀剣刀匠技術保存研修会を修了しなければならない。空欄に当てはまる正しい語句を下から選びなさい。
①5年間 ②7年間

【問67】 刀匠が製作を許可される短刀・脇指の数は、月に3振であるが、刀・太刀などの場合は() しか作刀することができない。空欄に当てはまる正しい語句を下から選びなさい。
①1振 ②2振

【問68】 無鑑査刀匠とは、国の認定を受けた刀匠である。○か×か。

【問69】 「日刀保たたら」は島根県安来市にある。○か×か。

【問70】 たたら操業を行う技術責任者を「村下」と言う。○か×か。

【問71】 現代刀に入っていた所持者銘を消したが、銃砲刀剣類登録証は内容変更の再交付手続きはしなくてよい。○か×か。

【問72】 土取り(土置き)とは何か。次の中から正しいものを選びなさい。
①刀の原料の砂鉄の採り方 ②刀の焼刃土の塗り方

【問73】 刀剣は焼入れの際に、一瞬内反りとなった後、本来の反りが生じる。○か×か。

【問74】 完成した刀身の茎(中心)に刀匠の銘を入れることを何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
①銘切り ②銘彫り

【問75】 刀身の焼き入れの後で、出来や傷を確認するために刀匠本人が大まかに研ぐ作業を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
①初研ぎ ②鍛冶押し

【問76】 白鞘に使用される木材は何か。次の中から正しいものを選びなさい。
①朴 ②樫

【問77】 鍔を作る職人のことを何と呼ぶか。次の中から正しいものを選びなさい。
①指物師 ②白銀師

【問78】 拵の下地を作る職人のことを何と呼ぶか。次の中から正しいものを選びなさい。
①鞘師 ②研師

【問79】 刀を研ぐ砥石の順番で正しいのはどれか。次の中から正しいものを選びなさい。
①荒砥—備水砥—改正砥—名倉砥—細名倉砥—内曇砥 ②内曇砥—荒砥—備水砥—改正砥—名倉砥—細名倉砥

【問80】 打ち粉の原料として多く使われているものは何か。次の中から正しいものを選びなさい。
①荒砥の粉末 ②内曇砥の粉末

【問81】 白く刃取りをしない刀の研ぎを何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
①差し込み研ぎ ②化粧研ぎ

【問82】 刀の切先を仕上げるときに使う道具を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
①なるめ台 ②仕上げ台

【問83】 研磨において、仕上げ研ぎの最初の工程を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
①刃艶 ②拭い

【問84】 仕上げ研ぎの順序は、刃艶—地艶—拭いである。○か×か。

【問85】 白鞘などに使われる糊は、米飯を練った米糊(続飯)である。○か×か。

【問86】 折紙には「代金子百枚」などと記されているが、1枚は何両か。次の中から正しいものを選びなさい。
①100両 ②10両

【問87】 重要美術品の認定が行われた期間はいつか。次の中から正しいものを選びなさい。
①昭和3年~24年 ②昭和8年~24年

【問88】 刀剣の価格は、同じ製作者で長さ・身幅・反りがほぼ等しくても、傷の有無などによって価格に大きな隔たりが生じることがある。○か×か。

【問89】 特別重要刀剣とは、国の指定する重要文化財に準ずる美術的価値の高い刀剣を基準にして審査し、合格したものである。○か×か。

【問90】 平成29年1月現在、国宝に指定されている刀剣類は何点か。次の中から正しいものを選びなさい。
①122 ②250

【問91】 平成29年1月現在、重要文化財に指定されている刀剣・刀装具類の合計は何点か。次の中から正しいものを選びなさい。
①787 ②1,200

【問92】 重要美術品に認定されている刀剣類は何点か。次の中から正しいものを選びなさい。
①999 ②2,000

【問93】 平成28年1月時点で、重要刀剣に指定されているのは何点か。次の中から正しいものを選びなさい。
①11,571 ②25,341

【問94】 国宝指定品であっても、申請することによって海外に輸出することができる。○か×か。

【問95】 国宝および重要文化財の指定品であっても、申請することによって許可されれば、個人で所有することができる。○か×か。

【問96】 五畿内とはどこを指すか。次の中から正しいものを選びなさい。
①山城・大和・和泉・河内・摂津 ②備前・山城・大和・河内・摂津

【問97】 常陸国は刀剣鑑定上ではどの街道に当たるか。次の中から正しいものを選びなさい。
①東山道 ②東海道

【問98】 美濃国は刀剣鑑定上ではどの街道に当たるか。次の中から正しいものを選びなさい。
①北陸道 ②東山道

【問99】 刀剣史で重要な年号の応永は何年続いたか。次の中から正しいものを選びなさい。
①26年 ②34年

【問100】 江戸初期の明暦と寛文の間に入る年号は何か。次の中から正しいものを選びなさい。
①万延 ②万治

日本刀に対する振興議連の関心は高い

去る二月十五日に「刀剣・和鉄文化を保存振興する議員連盟」が発足し、四月十一日、初めての全体会合が持たれた。

同議員連盟は、刀剣に関心を持つ若者の増加や海外での関心の高まりが見られる一方、刀剣の製作や和鉄生産を取り巻く環境が厳しさを増していることに鑑み、その伝統と文化を守り、振興を図っていくというもの。

役員として共同代表世話人甘利明氏、共同代表細田博之・竹下直の両氏、名誉顧問高村正彦氏、幹事長逢沢一郎氏、事務局長山田宏氏のほか、自民党衆参議員二十数名が参加している。今後は超党派の参加を呼びかけていくという。

当面の活動は刀剣鑑賞や関連施設の視察などが、今後取り組むべき課題として①刀剣類に関する人材育成の支援強化、②美術刀剣類の製作承認に関する運用の改善、③刀剣振興に関わる支援策、④和鉄の活用拡大策などを挙げている。

当日、刀剣業界からは公益財団法人日本美術刀剣保存協会酒井忠久会長・柴原勤専務理事・秋田敏彰理事、公益財団法人日本刀文化振興協会河端照孝特別相談役・宮入小左衛門行平専務理事、全日本刀匠会三上貞直理事長とともに、当組合清水理事長が出席した。

斯界の問題解決と振興に向けて大きな成果が期待される。

NEWS & TOPICS

「刀剣・和鉄を保存振興する議員連盟」が発足

正解	【問1】 ②	【問2】 ②	【問3】 ×	【問4】 ○	【問5】 ○	【問6】 ○	【問7】 ②	【問8】 ×	【問9】 ②	【問10】 ②
	【問11】 ①	【問12】 ①	【問13】 ①	【問14】 ○	【問15】 ○	【問16】 ○	【問17】 ①	【問18】 ②	【問19】 ②	【問20】 ①
	【問21】 ②	【問22】 ②	【問23】 ×	【問24】 ①	【問25】 ②	【問26】 ○	【問27】 ○	【問28】 ②	【問29】 ②	【問30】 ②
	【問31】 ①	【問32】 ①	【問33】 ①	【問34】 ④	【問35】 ④	【問36】 ③	【問37】 ③	【問38】 ②	【問39】 ①	【問40】 ①
	【問41】 ①	【問42】 ②	【問43】 ②	【問44】 ①	【問45】 ②	【問46】 ②	【問47】 ①	【問48】 ①	【問49】 ①	【問50】 ①
	【問51】 ②	【問52】 ②	【問53】 ①	【問54】 ①	【問55】 ①	【問56】 ②	【問57】 ②	【問58】 ①	【問59】 ②	【問60】 ②
	【問61】 ②	【問62】 ①	【問63】 ②	【問64】 ×	【問65】 ②	【問66】 ①	【問67】 ②	【問68】 ×	【問69】 ×	【問70】 ○
	【問71】 ×	【問72】 ②	【問73】 ○	【問74】 ①	【問75】 ②	【問76】 ①	【問77】 ②	【問78】 ①	【問79】 ①	【問80】 ②
	【問81】 ①	【問82】 ①	【問83】 ①	【問84】 ○	【問85】 ○	【問86】 ②	【問87】 ②	【問88】 ○	【問89】 ○	【問90】 ①
	【問91】 ①	【問92】 ①	【問93】 ①	【問94】 ×	【問95】 ○	【問96】 ①	【問97】 ②	【問98】 ②	【問99】 ②	【問100】 ②

「刀剣評価鑑定士」紙上模擬試験に CHALLENGE してみよう!

「刀剣評価鑑定士」紙上模擬試験

- 【問1】** 銃砲刀剣類を譲渡あるいは相続した場合、()に所有者変更届を登録の事務を行った都道府県の教育委員会に提出しなければならない。空欄に当てはまる正しい語句を下から選びなさい。
①すみやか ②20日以内
- 【問2】** 登録証現物ではなく写しを付帯して研磨を依頼したが、問題はないか。正しいものを下から選びなさい。
①現物紛失の恐れがあるので、写しでやむを得ない
②登録証は刀剣類とともに移動しなければならない
- 【問3】** 銃砲または刀剣類を自宅において発見した際は、速やかに所轄の警察署に連絡し、発見したことを報告するが、その際に自宅内の安全な場所に移動させてから電話することが重要である。○か×か。
- 【問4】** 業務その他正当な理由による場合を除いて、模造刀剣類(金属で作られ、かつ刀剣類に著しく類似する形態を有するもの)を携帯してはならない。○か×か。
- 【問5】** 「銃砲刀剣類登録証」を万一紛失した場合は、台帳の控えに沿って発行元の都道府県教育委員会に届け出て、その指示に従わなくてはならない。○か×か。
- 【問6】** 登録が許可される古式銃砲とは、日本製銃砲にあっておおむね慶応3年(1867)以前に製作されたもので、外国製についてもおおむねそれ以前に日本に伝来した前装式銃であることを、客観的資料等により証明できたものである。○か×か。
- 【問7】** 名義変更は、前所有者と現所有者のどちらが行わなくてはならないか。
①前所有者 ②現所有者
- 【問8】** 無銘の刀を鑑定審査に出したところ、「長船兼光」に極まったので、ペンで登録証に書き加え、それとわかるものにした。○か×か。
- 【問9】** 火縄銃を輸出する場合の手続きで、正しい記述は次のどちらか。
①文化庁の古美術品輸出鑑査証明を取得しなければならない
②文化庁の古美術品輸出鑑査証明と経済産業省の輸出許可を取得しなければならない
- 【問10】** 日本刀を輸出する場合の登録証の取り扱いについて、正しいものを次の中から選びなさい。
①刀に添付して輸出する
②輸出後に交付先都道府県教育委員会に返納する
- 【問11】** 買い受けもしくは交換するため、または売却もしくは交換の委託を受けるため、古物商以外の者から古物を受け取ることができる場所はどこか。次の中から正しいものを選びなさい。
①古物商の営業所または取引の相手方の住所もしくは居所
②古物商の営業所または取引の相手方が指定した場所
- 【問12】** 日本刀を買い受け、もしくは交換し、または売却もしくは交換の委託を受けようとするときは、相手方の住所、氏名、職業および年齢を確認しなければならないが、その義務が免除される金額はいくらか。次の中から正しいものを選びなさい。
①1万円以下 ②3万円以下
- 【問13】** 品触れを受けたときは、当該品触れに係る書面に到達の日付を記載し、その日からこれを保存しなければならないが、その期間はどれだけか。次の中から正しいものを選びなさい。
①6カ月間 ②1カ月間
- 【問14】** 防犯三大義務とは、「取引相手の確認義務」「不正品の申告義務」「帳簿等への記録義務」である。○か×か。
- 【問15】** 古物商許可を受けてから6カ月以内に営業を開始しなかったり、6カ月以上営業を休止すると、許可が取り消される場合がある。○か×か。
- 【問16】** ホームページのトップページには、「古物商の氏名または法人の名称」「許可をした公安委員会の名称」「許可証の番号」の3点を表示しなければならない。○か×か。
- 【問17】** 古物商の欠格事由で、正しいのはいずれか。
①古物営業の許可を取り消されてから、5年を経過しない者
②古物営業の許可を取り消されてから、3年を経過しない者

- 【問18】** 古物商本人が行商を行うときには古物商許可証を携帯しなければならないが、古物商が従業者に行商を行わせるときに携帯させなければならないのは、下のいずれか。
①自動車免許証などの身分証明証
②行商従業者証
- 【問19】** 古物商が一般人から入手した古物が盗品または遺失物であった場合、被害者等が無償でその古物の返還を請求できる期間で正しいのは、次のいずれか。
①その盗難または遺失のときから1年間
②その盗難または遺失のときから2年間
- 【問20】** 古物の買入および売却の記録(帳簿、伝票等)を営業所等に保存しておかなければならない期間で正しいのは、次のいずれか。
①最終記録日から3年間
②最終記録日から5年間
- 【問21】** 管理者の設置義務についての説明で正しいのは、次のうちどれか。
①同一の都道府県内では、古物商の代表者は複数の営業所の管理者になれる
②同一の都道府県内であっても、古物商の代表者は複数の営業所の管理者になれない
- 【問22】** 出張買い取りの場合、クーリングオフが適用されるが、適用期間は書面の交付された日から何日以内か。次の中から正しいものを選びなさい。
①3日 ②8日
- 【問23】** 絶滅危惧種とされる生き物を保護する条約(ワシントン条約)の対象生物の毛皮・象牙・鮫皮等の一部を使用しているが、江戸時代の骨董品であれば、条約違反とならずに輸出は可能である。○か×か。
- 【問24】** 次のうち、いずれが正しいか。
①象牙の製品はワシントン条約で国際取引が規制されているが、国内の取引は、特定国際種事業者であれば扱える
②象牙の製品はワシントン条約で国際取引が規制されているが、国内の取引は、古物商事業者であれば扱える
- 【問25】** 象牙の原材料や製品、ウミガメ科の背甲や端材を取り扱う事業(特定国際種事業者)を行う者は、「種の保存法」に基づく届出が必要であるが、その届出先はどこか。次の中から正しいものを選びなさい。
①総務大臣 ②環境大臣および経済産業大臣
- 【問26】** 全形を保持した象牙(生牙・磨牙・彫牙)やタイマイ等の甲は、一般財団法人自然環境研究センターで登録され、登録票の交付を受けたものでなければ、譲渡し等を行うことはできない。○か×か。
- 【問27】** 相続などで一般人が自宅にある象牙などの工芸品を1回だけ取引・譲渡する場合で、数点であれば、特定国際種事業者の事業者届を出す必要はない。○か×か。
- 【問28】** 刃長とどこからどこ長さか。次の中から正しいものを選びなさい。
①切先の先端から茎(中心)の先端までを結ぶ直線
②切先の先端から棟区まで結ぶ直線
- 【問29】** 刀の切れ味を示す言葉で業物があり、4段階の位列がある。2番目に良いとされるのは何か。次の中から正しいものを選びなさい。
①良業物 ②大業物
- 【問30】** 真の棟、行の棟、草の棟を順に正しく言い換えているのはどちらか。次の中から正しいものを選びなさい。
①庵棟、三つ棟、丸棟 ②三つ棟、庵棟、丸棟
- 【問31】** 朱銘についての正しい記述はどちらか。次の中から選びなさい。
①本阿弥家が生ぶ無銘に対して朱漆で書き入れた刀工銘
②本阿弥家が大磨上げ無銘に対して朱漆で書き入れた刀工銘
- 【問32】** 刀身彫刻で不動明王を意味するものは何か。次の中から正しいものを選びなさい。
①俱利伽羅龍 ②珠追い龍
- 【問33】** 越前守や和泉守などの国司の称号を茎に刻している例がある。これを何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
①受領銘 ②大名銘

- 【問34】** 次の [] の中から誤りを1つ選びなさい。本庄義胤は正秀や直胤の作品に彫物を彫っているが、彫同作のある刀工としては [①栗原信秀、②月山貞一、③逸見義隆、④山浦真雄] が有名である。
- 【問35】** 次の [] の中から誤りを1つ選びなさい。茎(中心)に菊紋を切った大坂新刀の刀工には [①井上真改、②近江守久道、③丹波守吉道、④近江守助直] らがいる。
- 【問36】** 次の [] の中から誤りを1つ選びなさい。8代將軍徳川吉宗から一葉葵紋を賜った刀工には [①一平安代、②主水正正清、③越前康継、④筑前信国重包] がいる。
- 【問37】** 次の [] の中から正しいものを1つ選びなさい。国宝に指定されている刀剣は現在122点あるが、その中で最も多く指定されているのは [①正恒、②長光、③正宗] の9点である。
- 【問38】** 次の [] の中から正しいものを選びなさい。本阿彌家は研師として室町時代から代々続く家柄であり、鑑定にも長じていたため、幕府お抱えの鑑定家となった。「刀剣鑑定所」を創設したのは [①8代光利、②9代光徳、③10代光室] である。
- 【問39】** 次の [] の中から正しいものを選びなさい。古書では日本刀の祖は天国と言われているが、相州鍛冶の祖は [①新藤五国光、②正宗] である。
- 【問40】** 次の [] の中から正しいものを選びなさい。古書では日本刀の祖は天国と言われているが、新刀の祖は [①埋忠明寿、②堀川国広] である。
- 【問41】** 一般に「応永備前の三光」と言われる刀工で正しいのは次のどちらか。
①盛光、康光、師光 ②盛光、康光、景光
- 【問42】** 南北朝時代の相州広光・秋広、山城の長谷部国重などによって始められ、その後各地で盛んに焼かれた刃文は何か。次の中から正しいものを選びなさい。
①簾刃 ②皆焼
- 【問43】** 二代河内守国助が得意とした刃文は、次のどれか。正しいものを選びなさい。
①片落ち互の目 ②拳形丁子乱れ
- 【問44】** 現代にまで代々伝わる月山一門が得意とする肌を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
①綾杉肌 ②梨子地肌
- 【問45】** 三所物とは、同じ作者が同じ意匠で製作した揃金具である。その組み合わせは何か。次の中から正しいものを選びなさい。
①鐔・小柄・拵 ②小柄・拵・目貫
- 【問46】** 江戸時代の名工で、「奈良三作」と呼ばれる金工は誰か。次の中から正しいものを選びなさい。
①浜野政随・杉浦兼意・土屋安親
②奈良利寿・杉浦兼意・土屋安親
- 【問47】** 拵の鞘や白鞘の内側に、脱着可能な鞘が二重に設けられている例がある。これを何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
①入子鞘 ②休め鞘
- 【問48】** 刀装具の素材となる四分一とは、主に銅と何の合金か。次の中から正しいものを選びなさい。
①銀 ②亜鉛
- 【問49】** 鐔表の茎(中心)孔を中心として左右に孔が開けられている場合、小柄の槽孔はどちらか。次の中から正しいものを選びなさい。
①左 ②右
- 【問50】** 短刀の拵で鐔のない形式を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
①合口拵 ②小さ刀拵
- 【問51】** 山銅の地金はどのようなものか。次の中から正しいものを選びなさい。
①精錬された銅 ②精錬されていない銅
- 【問52】** 太刀鋸で一般に見られるのはどちらか。次の中から正しいものを選びなさい。
①二重 ②一重
- 【問53】** 和歌山県の寺の名前に由来し、黒漆による下塗りに朱漆塗りを施し、使い込まれることで黒赤の自然な模様が生み出される技法を何と言うか。次の中から正しいものを選びなさい。
①根菜塗 ②呂色塗

刀剣・小道具・甲冑武具
目白 **飯田高遠堂**
代表取締役 飯田慶雄
〒161-0033
東京都新宿区下落合3-17-33
TEL 03-3951-3312
FAX 03-3951-3615
<http://www.iidakoendo.com>

(株)美術刀剣松本
松本 富夫 義行
〒278-0043 千葉県野田市清水199-1
TEL 04-7122-1122
FAX 04-7122-1950
www.touken-matsumoto.jp

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑
日本の伝統文化を彩る
JAPAN SWORD CO., LTD.
(株)日本刀剣
伊波賢一 Ken-ichi Inami
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1
TEL 03-3434-4321
FAX 03-3434-4324

銀座日本刀ミュージアム
泰文堂
〒104-0061 東京都中央区銀座6-7-16
岩月ビル2階
(株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏
TEL 03-3289-1366
FAX 03-3289-1367
<http://www.taibundo.com>

刀剣 高吉
古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!
連絡先 **090-8845-2222**
代表者 高島吉童
東京都北区滝野川7-16-6
TEL 03-5394-1118
FAX 03-5394-1116
www.premi.co.jp

刀 剣 界

新設される消費税軽減税率制度について

四月十七日、東京美術倶楽部で当組合が開催した「消費税軽減税率制度に係る説明会」において、講師としてお招きした財務省主税局税制第二課・佐野恵一郎係長より、「古物商における軽減税率制度/インボイス制度への対応」について、説明がありました。

以下に詳細を再録します。

一、消費税率10%への引上げと「軽減税率制度」の実施について

消費税の「軽減税率制度」は、消費税率10%への引上げに伴う低所得者への配慮として実施されるもの。軽減税率の適用対象は「酒類・外食を除く飲食料品」「週二回以上発行される新聞(定期購読契約に基づくもの)」であり、刀剣商の「売上げ」にはあまり関係するものではない。

しかし、「仕入れ(経費)」においては、例えば会議費等で茶菓を



軽減税率制度に関する佐野講師(正面)の説明を聞く

消費税は「売上げ」に係る税額から「仕入れ」に係る税額を差し引いて納税することになるが、現行では、「仕入れ」に係る税額を差し引く(仕入税額控除)要件として、「帳簿」と「請求書等」の保存が求められる。

軽減税率制度後は、現行の「請求書等」に「軽減税率の対象品目である旨」と「税率」に合算した税込対価の額」が追加された「区分記載請求書」の保存が求められることとなる(区分記載請求書等保存方式)。

従って、軽減税率対象の仕入れがある場合、区分記載請求書に基づいて記帳することになるが、その際、帳簿においても「軽減税率の対象品目である旨」の記載を行

購入したり、会社で新聞を定期購読するなど、軽減税率の対象となる仕入れもあるため、税率ごとに分けて帳簿等に記帳し、申告の際にも税率ごとに区分して計算することが求められることとなる。

二、「軽減税率制度」の対象品目についての基本的な考え方について

消費税の軽減税率の適用対象となる「飲食料品」とは、人の飲用または食用に供されるものをいう。また、適用税率の判定は、「売り手」が「販売時点」において行うこととなる。

なお、消費税は「取引課税」なので、「売上げ」と「仕入れ」を区分して考える必要がある。例えば、軽減税率で仕入れたものを標準税率で販売することや、その逆もあり得る。

三、「軽減税率制度」後の仕入税額控除(区分記載請求書等保存方式)について

消費税は「売上げ」に係る税額から「仕入れ」に係る税額を差し引いて納税することになるが、現行では、「仕入れ」に係る税額を差し引く(仕入税額控除)要件として、「帳簿」と「請求書等」の保存が求められる。

軽減税率制度後は、現行の「請求書等」に「軽減税率の対象品目である旨」と「税率」に合算した税込対価の額」が追加された「区分記載請求書」の保存が求められることとなる(区分記載請求書等保存方式)。

従って、軽減税率対象の仕入れがある場合、区分記載請求書に基づいて記帳することになるが、その際、帳簿においても「軽減税率の対象品目である旨」の記載を行

四、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の基本的な考え方・記載事項について

軽減税率制度実施から四年後の平成三十五年(二〇二三)十月一日から、区分記載請求書等保存方式(インボイス制度)が導入されることとなる。これは、「区分記載請求書」に「登録番号」や「適用税率」「消費税額」といった記載事項が加わった「適格請求書(インボイス)」の保存を仕入税額控除の要件とする制度である。

インボイスとは、「売り手が買い手に対し正確な税率や税額を伝えるツール」である。そこから「売り手」は「買い手」(課税事業者)の求めに応じてインボイスの交付義務が生じること、「売り手」の「売上げに係る税額」を記載する必要が生じることとなる。従って、売上げに係る税額がなるとされる、いわゆる免税事業者や消費者は、インボイスを交付することができないこととなる。

刀剣商も含めた古物商は、主に消費者から物を仕入れることが多いのではないかと考えられる。すると、古物商にとって主な仕入先である消費者は、上述の通りインボイスを交付することができないため、古物商の仕入れの多くは仕入税額控除不可となってしまふ。そのような取引実務に配慮し、「古物営業を営む事業者が適格請求書発行事業者でない者から、当該事業者の棚卸資産として購入する取引」については、「帳簿」のみの保存で仕入税額控除が認められる特例(古物商特例)を措置することとした。

五、インボイス制度における「古物商特例」について

「古物商特例」の要件としては、①古物商であること、②仕入先が適格請求書発行事業者でないこと、③購入したものが古物商にとって棚卸資産であること、が挙げられる。

②の仕入先(売りに来た者)が適格請求書発行事業者でないことの確認は、「口頭で確認する方法」や「適格請求書発行事業者の方はお申し出ください」といった張り紙を張る方法、仕入れの際に記入させる書類に適格請求書発行事業者かどうかのチェック欄を設ける方法などが考えられるが、営業の実態に即した方法を検討してもらいたい。

また、古物商が作成している古物台帳は、原則として、消費税法上の帳簿の記載事項を満たすものとなっている。従って、インボイス制度後においても消費税法上の記載事項を満たす古物台帳を保存しておけば、「古物商特例」における仕入税額控除の要件である「帳簿」の保存も満たすことになる。その際、売り手である委託者(古物商)と、媒介または取次ぎに係る業務を行う者(古物市場主)が適格請求書発行事業者であるなど一定の要件を満たす場合、媒介者である古物市場主が、売り手である委託者に代わって古物市場主の氏名等及び登録番号を記載したインボイスを交付できるという、交付方法に関する特例(媒介者交付特例)もあるので、適用の可否について検討してもらいたい。

銃砲刀剣類の所有者変更届はなぜ必要か

戦後初期の刀剣所持制度の変遷から

昭和二十年の終戦から数ヶ月は、日本刀は機関銃などと同様に武器と見なされ、GHQの指令に基づいて接収され、廃棄されました。その後、先人たちの努力で、美術品と認められる日本刀に対しては、審査を経て所持することが許されました。

紆余曲折はありましたが、二十五年十一月二十日に「銃砲刀剣類所持取締令」が施行になり、翌年二〜三月から都道府県ごとに「銃砲刀剣類登録証」(以下、登録証)の発行が始まり、現在に至っています。

どんな名刀でも所持できなかった最初の時期、次に美術的価値のある日本刀のみが所持を許され、さらにその相続や譲渡もできるようになるまでには、多くの時間を要したことも認識しておかなくてはなりません。

なぜ「所有者変更届」をしなくてはならないかについては、登録証の原典とも言つべき「銃砲刀剣類所持取締令制定案の要綱」について(昭和二十五年十一月第三次吉田内閣次官会議資料)に見いだすことができます。要項は十五項目からなっていますが、所有者

変更に関する箇所を抜粋すると、
「三、文化財保護委員会の登録を受けた刀剣類及び銃砲は、何人がこれを所持しても差支えはないが、これを譲り受け、若しくは相続した者は、(中略)文化財保護委員会に届出を要することとした。」

四、右のように登録を受けた銃砲又は刀剣類は以後何人でも所持し得るようになったが、治安上の観点からこれを全く放任することとはできないので文化財保護委員会は、前号の届出を受けたときは、その旨を公安委員会に通報することにより、公安委員会が、これらの銃砲又は刀剣類の移動状態を確知し得るようになった。

五、第三号の場合において届出しない者に対しては懲役又は罰金を科すると共に、その違反行為に係る刀剣類及び銃砲は、裁判により没収することができることとした。」

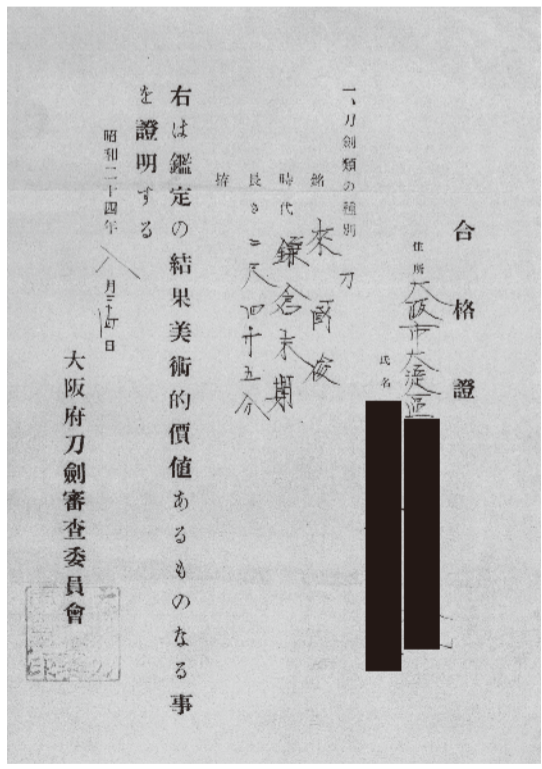
と明記されています。登録証の裏面に記載されている注意事項も年々、徐々に改正されてきました。当初は所有者変更についての記載は全くありませんでした。

銃砲刀剣類の所有者変更届がなぜ必要なのかを要約すると、「治安上の観点から公安委員会が移動状態を確知し得るようにした」ことが大きな理由です。

登録証の発行が開始して既に六十七年が過ぎ、その数は二百三十万件を超えています。前記の理由から所有者変更届は行わなければならない。と同時に、登録証の中にはさまざまな理由により不備が見つかる場合もあります。

このような場合、関係機関が一体となって協力し合い、正確な登録証の再発行を期するとともに、美術的価値のある日本刀を後世に伝える義務があります。

登録証が制度化される以前にはこんな証明書も発行された
(真賀吉也)



重要無形文化財保持者三人が加わり 第九回展審査会を開催

公益財団法人日本刀文化振興協会

公益財団法人日本刀文化振興協会では四月十八〜二十日の三日間、第九回「新作日本刀 研磨外装刀職技術展覧会」の審査会を開催した。本阿彌光洲理事長(研師)、室瀬和美氏(漆芸家)に続き、本年は桂盛仁氏(彫金家)が審査員に就任され、三人の重要無形文化財保持者が加わる格式の高い審査となった。各部門の概要と入賞者は次の通り。

〈作刀部門〉

出品数は例年と変わらず。経済産業大臣賞には今回初めて河内一平氏が受賞し、特賞第二席に同門の根津啓氏が入賞した。初出品一名が新人賞に選ばれた。全体として技術の向上が認められた。

・経済産業大臣賞 河内一平

・日本刀文化振興協会会長賞 根津啓

- ・金賞第一席 月山一郎
- ・金賞第二席 安達茂文
- ・銀賞第一席 明珍裕介
- ・銀賞第二席 上山陽三
- ・銅賞第一席 川瀬祐二郎
- ・銅賞第二席(新人賞) 藤原准

〈刀身彫刻〉

昨年に続いて木下宗憲氏が特賞を受賞した。

・長野県知事賞 木下宗憲

〈研磨部門〉

特賞第一席を若手の阿部聡一郎



会場となる坂城町・鉄の展示館

- 氏が初めて受賞し、二席には本阿彌毅氏が入った。従来、特賞受賞作品は古名刀が多い中、特賞一席は新刀で、その技術力が評価されているので今後に期待したい。金賞・銀賞には古名刀の優秀な研磨が続き、ハイレベルな審査となった。
 - ・日本刀文化振興協会会長賞 阿部聡一郎
 - ・信濃毎日新聞社賞 本阿彌毅
 - ・金賞第一席 小野敬博
 - ・金賞第二席 関山和進
 - ・銀賞第一席 森井鐵太郎
 - ・銀賞第二席 水田吉政
 - ・銅賞第一席 藤川二朗
 - ・銅賞第二席 正海裕人
- 外装部門では、森井敦史氏が白鞘と拵下地部門の両方で特賞を受賞した。鞘塗部門で小光秀氏が初めて特賞を受賞した。刀装具で入賞した方々の作品については、構図や材料、仕上げなどよく吟味され、技術的にも安定した作品が出品されていた。入選の方々については、相応の技術は持っている、もう少し細部にも目を配り、精度を上げてほしい。

- 〔柄巻き〕
- ・銀賞第一席 遠山和康
- 〔拵下地〕
- ・坂城町長賞 森井敦史
- 〔鞘塗〕
- ・坂城町教育委員会教育長賞 小光秀
- 〔特別公開部門「Sword Origami Art」〕
- 出品数は少ないものの、非常に魅力的な作品が優秀賞となり、大小揃いの力作があるなど見応えも十分あるので、併せてぜひご覧いただきたい。
- ・優秀賞第一席 関山和進
- ・優秀賞第二席 阿部聡一郎
- ・佳作第一席 長津弘貴
- ・佳作第二席 三浦弘貴



「明美ちゃん基金」に刀剣協同組合が寄付

全国刀剣商業協同組合(清水儀孝理事長)は21日、国内外の難病の子供たちを救う「明美ちゃん基金」(産経新聞社提唱)に25万円を寄付した。11月17〜19日に港区新橋の東京美術倶楽部で開催された日本刀や武器などの展示即売会「第30回大刀剣市2017」に出品した組合各店と入場者から寄せられたもの。嶋田伸夫専務理事「写真(左から2人目、飯田英男撮影)は、「刀剣市は年々来場者が増えてきている。これからも浄財の寄付を続けていきたい」と話した。

【読売新聞】平成29年12月22日

「登録証問題」を考える 13

事例22 昔の間違い、今の迷惑

昔の登録証というものは、実在がたいものである。特に昭和二十六年三月の登録ともなると、名家に伝来した名刀である可能性を秘めており、実際、売り立て記録を調べてみると、「あ、これだ」ということもままある。しかし、古い登録証にはいささか注意が必要である。案外、記載ミスがある故である。

例えは、昭和二十六年三月十二日に神奈川県で登録された長船清光の刀は「天文十年八月」の裏年紀があるのだが、登録審査員はどういうわけか、登録証に記載していなかった。現物鑑定の際、訂正交付され、事なきを得た。

「悲劇の名刀」竹田城へ 最後の城主・赤松広秀所蔵 佐用の刀工再現

418年ぶり「刀剣女子」が一役



刀工の黒児一さんと完成させた「獅子王」の写し刀(兵庫県佐用町家内)

数百年前に複製された日本刀が418年ぶりに「複製」する。朝来市山田町にあった竹田城最後の城主・赤松広秀(1562〜1600年)が所蔵した「獅子王」だ。今は東京国立博物館が保管する名刀の写し刀が完成し、22日、竹田城跡で再現された。複製されたのは「獅子王」と呼ばれる女性たちだ。複製されたのは、朝来市山田町に伝わる「悲劇の物語」に登場する「獅子王」の写し刀。複製されたのは、朝来市山田町に伝わる「悲劇の物語」に登場する「獅子王」の写し刀。複製されたのは、朝来市山田町に伝わる「悲劇の物語」に登場する「獅子王」の写し刀。

【神戸新聞】平成30年4月20日

昭和三十年に岐阜県で登録された伊勢の刀工正重の脇指は、銘文が「勢州住千子正重」であった。当時の登録審査員は、最初「勢州住」と正しく読んで登録証に記した。しかし、誰かに何か言われたのだろうか、「勢」の一字をわざわざ二重線で消して、「撰」と書き、「安江」の訂正印まで押ししている。しかし、現品は間違いなく「勢州」なので、本当に困った例であった。

刀界では知らない人がいないであろう大先生であった。昭和二十六年当時の登録の事情は、若輩の筆者の知るころでは無いが、聞けば、東京などは月に三回実施、数もかなり多かったらしい。刀に慣れた先生方であったとしても、目盛りの見間違いや書き誤りは致し方ないところだと思える。また、平素この先生方のご研究や著書の恩恵に預かっていることば思えば、あまり文句も言えないのだが、それでも今風になら「先生、やっちゃったね」というところであろう。

(登録証問題研究会)

刀剣の故地を往く

神奈川県鎌倉市・鎌倉山

希代のコレクター長尾夫妻の栄華をたどって

鎌倉山は昭和の初め、菅原通済が別荘地として開発した。菅原の周辺にはまま怪聞も漂うが、戦後、麻薬・売春・性病の三悪追放キャンペーンを主唱し、売春防止法の制定に力を尽くしたことで知られる人物である。

この鎌倉山の山頂付近、当時の鎌倉郡深沢村(現同鎌倉町)極楽寺にかけての十三万坪を求め、別邸を営んだのが、滋養強壮薬の「わかも

と」で財をなすつつあった長尾欽彌・よね夫妻である。

今や直接知る人こそ絶えたが、昭和二十年代までの長尾夫妻は、当世屈指の美術コレクターであり、各界に知られるパトロンでもあった。第一次世界大戦が終結するのは、わが国の元号で大正七年のことだが、その後、ビールの搾り滓がドイツの傷病兵の回復に効果を上げたという話題が伝わってきた。これに最初に

反応したのは、よねである。欽彌は、栄養学・食品化学の権威であった東京帝大名誉教授の沢村貞博士の指導を得て、酵母を錠剤にすることに成功する。製品名は「若素」。「わかも」とするのには、昭和六年である。

創業した翌年の昭和五年には、玉川電車の桜新町にほど近い世田谷区深沢四丁目一三二番地に邸宅を造り始めている。家屋の設計は東京帝大出身で数寄屋建築の大家大江新太郎、庭造りはこれも著名な京都の造園家小川治兵衛(通称「植治」)の下で甥の岩城巨太郎が担当した。桜新町界隈は当時の新興住宅地であったが、最初の五百坪から次々に買い広げて七千八百坪に達した。

桃山期の古民家を移築した扇湖山荘の母屋



扇湖山荘から鎌倉の海を望む



が「十便帖」を、与謝村材が「十宜帖」を描いて合作した画帖は、島崎藤村旧蔵の国宝「十便十宜帖」として現存する。

跡地には、都立深沢高校が建ち、住居の一部が「清明亭」と命名され、同校生たちに活用されている。

本間順治は昭和七年四月、東京美術倶楽部で旧浜松藩主井上子爵家の入札を見下した夫人のよねから「左文字」の短刀を買い取ったのだが、相談を受けた。落札価格は二千六百八十円、現在の貨幣価値で言えば、五百万円ほどであろう。目録を見ると、物打ち辺の錆と平地のヒケ疵が目立つが、そのせいでもあるのか、法外に安い。ある経済雑誌の記事に「売りに立ての際、これを名刀と見た者はいなかった」ともある。国宝の「太閤左文字」である。

同九年二月開催された紀州徳川家の入札では、「江雪左文字」の号で知られる国宝を入手した。二万四千三百円であった。

長尾家で所蔵したことが確認できる刀剣は、表に掲げた。これを見て気づくのは、すべて古刀の著名上の作だということである。選りすぐった古刀だけを集めたものの印象が強い。長尾コレクションにはほかにも陶器・染織・彫刻・絵画・典籍・工芸など広範な分野の優品を数多く集めた。文化財保護法の施行(昭和二十五年八月)以前に指定された旧国宝二十八点、認定された重要美術品六十二点を所有し、その後の新制度の下でも国宝八点、重要文化財二十一点を数える。

桜新町の長尾邸は「宜雨荘」と呼ばれた。中国の清代の作家が草庵を山麓に結び、閑居していたところ、訪れた客が「静かではあろうが、不便も多からう」と言ったのに対して、便と宜とそれぞれ十則の詩を作って応えたという。その十宜の一つが宜雨である。この故事に基づいて池大雅

が「十便帖」を、与謝村材が「十宜帖」を描いて合作した画帖は、島崎藤村旧蔵の国宝「十便十宜帖」として現存する。



世田谷・宜雨荘の庭園

移り、その後、能装束は国立能楽堂が、小袖類は女子美術大学が所蔵するところとなっている。

維新最後の志士・田中光頭の落胤とも噂されたよねについては、白洲正吉が「女傑」という一文を残している。

それによれば、三十二年に横綱に上り詰める若乃花幹士は、早くからよねが慕った。二子山の年寄名跡を買い与えたのも彼女である。白洲は若乃花が小結になりたてのころ、「どうぞよろしく」と花籠親方に引き回される姿を長尾家で見たと、これほどの大物になるとは想像もつかなかった。それでもよねは、「今に見ていてご覧なさい、きつと横綱にしてみせる」と、まるでわが子を扱つかのようだったという。

「勝ったときは誰でも褒めてくれますが、負けたとき、ああいい相撲を取ったと褒めてくれるのは、長尾の奥さんだけでした」と、後に若乃花自身が回想している。

上方舞の武原はん(日本藝術院会員)が「私の履歴書」で、よねに助けられたことを明かしている。昭和十九年、四年勤めた新橋の芸者を廃業するが、その時、はんには借金がかかっていた。よねは、はんの借金を返した。よねは、はんの借金を返した。よねは、はんの借金を返した。



長尾家が所蔵した当時の「太閤左文字」の桐箱

残っていた。すべて衣装代である。思いあぐねて親しかった木挽町の「なた万」の女将に話すと、「わかもとの奥さんに相談したら」ということになった。桜新町を訪ねて事の次第を打ち明けた。「借金はいくらあるの」「へえ、三千円ばかり」「どこで借りたの」「ちた和です」「ちた和だったら言っておくから、私の方へ回しなさい」。この一言で、はんの借金は消えたという。

鎌倉山の別邸は、海が扇形に見えることから、欽彌が「扇湖山荘」と名づけた。母屋は飛騨高山から三層の古民家を移し、茶席は伏見宮別邸のものを移築した。

ほかに琵琶湖の南の唐崎(現大津市)、京都の鷹峯と南禅寺にも別邸を持った。鷹峯は本阿彌光悦が徳川家康から広大な原野を拝領し、後に芸術村とした地であり、南禅寺界隈は元は維新直後に政府の土地によって廃絶した塔頭の寺領である。その跡地はやがて邸宅や別荘として再開された。ここには今も、植治が琵琶湖疎水から巧みに水を引き込んで主景とした名庭園がいくつも残っている。

残念ながら、鷹峯と南禅寺の長尾別邸については、詳らかでない。岩城巨太郎の作庭年表によれば、東京の長尾邸が昭和五年、扇湖山荘が六年、唐崎の隣松園が七年と続き、後二者には特に全庭作庭の記載がある。これは開始の年をさすらしく、扇湖山荘と隣松園の竣工はいずれも九年と記される。扇湖山荘の庭園には、実に四年を費やしていることになる。長尾の名邸は、昭和八年に没する植治の最晩年に位置づけられる。その長尾家に親しく出入りしたり、招かれて酒宴の供を受けた要人は

限りなく多い。近衛文麿、東久邇貞侯、木戸幸一、公爵一条實孝、検事総長松阪広政、陸軍の寺内寿一、杉山元、海軍の山本英輔、小林躰造、永野修身、長谷川清、野村財閥の野村徳七、文士の里見弴、久米正雄、木下幸太郎、林房雄、山本有三、志賀直哉、画家の梅原龍三郎、安井曾太郎、小林古径、安田靉彦、そのほか、岩波書店の小林勇や尺八奏者の福田蘭童らも出入りした。白樺派の人々は、同人でもあった児島喜久雄(東大教授)の関係であろう。

よねの指で包丁を振るったのは、北大路魯山人の星岡茶寮から転じた加藤彌三郎である。加藤は後年、一戦争中に長尾家で私のやっていったような贅沢な料理は、今日どんな料理屋でもできないと思います」と、白崎秀雄の『当世畸人伝』で語っている。小説を書いても発表する機会に限られた戦時中、里見弴は「いざ」と面倒を見てもらった。請われて魯山人から長尾家の女中になった若乃花が鎌倉で里見にたまたま出会うと、その晩年まで「おはっちゃん、あのころが一番楽しかったなあ」と、しきりに懐かしがった。「おはっちゃん、若乃花の長尾家での呼び名であった。

近衛が杉並区荻窪の私邸萩外荘で亡くなったのは、二十二年十二月十六日早晩である。連合軍総司令部から逮捕令が出ており、この日が収容の期限になっていた。実は前々日々刻までの四日間、近衛は桜新町の長尾邸に滞在していて、内心ではこ

Table with 3 columns: Item Name, Material, and Length. Title: 長尾家の主な刀剣コレクション. Includes items like 太刀, 短刀, and 刀 with their respective details.



琵琶湖・唐崎の隣松園

を最期の場所としたかったらしい。遺体の枕元には「わかも」と「よね」の容器とともに、米軍が持ち去った褐色の小瓶があったというが、これはよねの持ち物だったという。

長尾夫妻の戦後は不本意なものであった。わかもと製薬は手を離れ、本邸は詐欺同然の価格で買いたたかれた。多摩に構想していた長尾美術館はついえた。隣松園は一時、裏千家の所有であったが、跡形もなくなっ

た。

組合こよみ(平成30年3~4月)

- 3月7日 公益財団法人日本美術刀剣保存協会酒井忠久会長・柴原勤専務理事・志塚徳行常務理事・福本富雄常務理事と懇談会を開催。出席者清水理事長・伊波副理事長・服部副理事長・嶋田専務理事・飯田理事・冥賀理事・深海顧問
- 8日 福隆美術工芸において『刀剣界』第40号編集委員会を開催(再校)。出席者嶋田専務理事・綱取常務理事・生野理事・深海顧問・土子民夫氏
- 15日 経済産業省の象牙等取扱事業者向け「改正種の保存法に関する説明会」に清水理事長・伊波副理事長・生野理事が参加
- 16日 東京美術倶楽部において第8回理事会を開催。出席者清水理事長・伊波副理事長・土肥副理事長・服部副理事長・嶋田専務理事・佐藤常務理事・綱取常務理事・飯田理事・大平理事・木村理事・猿田理事・生野理事・瀬下理事・松本理事・冥賀理事
- 16日 東京美術倶楽部において『刀剣界』第41号編集委員会を開催(企画)。出席者清水理事長・伊波副理事長・服部副理事長・嶋田専務理事・佐藤常務理事・綱取常務理事・大平理事・木村理事・生野理事・瀬下理事・松本理事・冥賀理事・土子氏
- 17日 東京美術倶楽部において組合特別交換会を開催。参加80名、出来高42,791,000円
- 17日 組合特別交換会終了後、新橋亭において懇親会を開催。参加50名
- 4月2日 組合事務局において逸見税理士・清水理事長・伊波副理事長・服部副理事長・嶋田専務理事が決算について打ち合わせ
- 11日 「刀剣・和鉄を保存振興する議員連盟」発足会に清水理事長が出席
- 16日 東京美術倶楽部において赤荻・大西両監事による会計監査
- 17日 東京美術倶楽部において組合交換会を開催。参加56名、出来高11,290,000円
- 17日 東京美術倶楽部において「消費税軽減税率制度に係る説明会」を開催。講師は財務省主税局税制第2課消費税第2係長佐野恵一郎氏。参加34名
- 16日 東京美術倶楽部において第32期第1回理事会を開催。出席者清水理事長・伊波副理事長・土肥副理事長・服部副理事長・嶋田専務理事・佐藤常務理事・綱取常務理事・大平理事・木村理事・猿田理事・生野理事・瀬下理事・松本理事・冥賀理事・持田理事・赤荻監事・大西監事
- 17日 東京美術倶楽部において『刀剣界』第41号編集委員会を開催(初校)。出席者清水理事長・伊波副理事長・服部副理事長・嶋田専務理事・綱取常務理事・生野理事・土子氏
- 26日 新橋プラザビルにおいて『刀剣界』第41号編集委員会(再校)、「刀剣評価鑑定士」事業検討会を開催。出席者清水理事長・伊波副理事長・服部副理事長・嶋田専務理事・綱取常務理事・生野理事・松本理事・冥賀理事・深海顧問・土子氏



赤羽一番街にて石田垂矢子さんと

今日の俺の行き先は北区赤羽。各競売で伝票の入出力をパソコンでしてくれる石田垂矢子さんを訪ねる。石田さんは神奈川県出身だが、現在はスポーツライターの主人とご赤羽に住む。さて、「からし焼き」というお惣菜を知っている? 北区民のソウルフードだよ。説明すると、見た目は真っ赤なスープに沈んでいて、甘みを加えた麻婆豆腐のひき肉をソース肉にし、にんにくをゴロンと加え上に小口切りのネギや薄切り胡瓜を乗せたもの。想像しただけで白いご飯が欲しくなるだろ? 東十条や赤羽の小さな食堂が発祥らしい。

この赤羽駅に自転車に乗ったのは実は初めて。駅の周りに飲食店が並ぶのは当たり前だが、俺の住む東横線沿線では見ない、大手ではないチェーン店の看板が魅かれる。そして「からし焼き」を食べさせてくれそうな個人商店もたくさん混在し、賑わいを見せている。铸件で栄えた川口、その受け皿のかつての歓楽街として賑わった西川口の街は今や変わり果て、中国から移り住んだ人々の街となっていると聞く。

都内に勤務し、ベッドタウンへ帰る、乗り換え、途中下車の残った最終ポイントは文化遺産のように住民、そこを通過する人たちに朝から晩まで愛される。朝? というのも、実は大日本印刷の工場が

ジョーちゃんの
健脚商売
18

北区赤羽 編

北本通りにあり、生産ラインは二十四時間動きを止めない。そこで夜勤明けの勤め人に、朝からねぎらいの酒を出す店が多いという。石田さんは八王子市南大沢編に出た大野千春さんと友達であり、彼女と同様プロレスの世界に長く携わった。大野さんはアイスリボンという興行団体でリングアナとして活躍している。だが、石田さんはまた別の我闘雲舞という団体で裏方として手伝う。また某スポーツ誌の編集員としても活動している、われわれ『刀剣界』もそのノウハウを教えていたかなきゃ! 月のうち八、九回の刀剣競売の仕事のほかは、そんな風に忙し過ぎて話してくれなかった。そして交換会でも彼女を脇役と侮ってはいけない。彼女からの視点ならではの「清浄ではない取引」も見えたと、衝撃の話を教えてくれた。お見通しというわけだ。

ここで「刀剣界の陰の女帝は豊満な肉体の人妻だった」とか書くとおおっ、綱取もツール・ド・フランスのネタがなくなり官能路線のレポートに変わったか、とみんなウハウハ読んでくれそうだけど、これじゃセクハラだよな。

猿田理事が大野さんにパイプ椅子で殴られたように、俺も殴られるとするか……ポカッ!

(綱取譲)



関鍛冶伝承館の公開鍛錬

「快適に見学できる施設になった。海外客にも見に来

NEWS & TOPICS

関鍛冶伝承館日本刀鍛錬場がリニューアルオープン

関鍛冶伝承館(岐阜県関市南春日町九一)が五七五二二二二八二五)に付設された日本刀鍛錬場の改修工事が完了し、四月八日、リニューアルオープンした。

鍛錬場では従来から刀匠による日本刀鍛錬が公開されており、今回新たに座席百席と二十人分の立ち見席を設置。外国人見学者のため、作刀工程を英語と中国語のナレーション付きで放映するモニター三台も設けた。

刀剣ブームもあって近年は来場者が多く、また老朽化に対応するため、市が総事業費約九千八百二十万円を投じて昨年十一月から改修してきたもの。

式典で尾関健治市長は「快適に見学できる施設になった。海外客にも見に来



「開店後間もない今でも来店客は多く、対応に追われることしばしば。それでも丁寧に対応して日本刀に興味を持つ人が親しめる店にします」と旗谷さん。自ら運営に携わる九州、関西をはじめ、多くの市場に参加しながら、ますます多忙で充実した毎日になることでしょう。(松本義行)

NEWS & TOPICS

日本刀旗谷が移転オープン

「日本刀旗谷」(旗谷大輔代表)が刀剣博物館(公益財団法人日本美術刀剣保存協会)の両国移転に合わせて、すぐそばの両国国技館北交差点近くに二月一日オープンしました。

建築家の工夫が凝らされた二階建ての店舗は白塗りの内外装で吹き抜けがあり、明るいイメージ。

入店すると、まず左右三段のショーケースに効率よく展示された刀剣が三十振、そしてその奥と二階には甲冑約二十領が並べられ、さながら洒落た博物館のようです。

旧刀剣博物館近くの代々木で十三年間培ったノウハウを生かし、立ち寄りたくなる素敵な刀剣店になっています。

てほしい」と挨拶。関伝日本刀鍛錬技術保存会の井戸誠嗣会長は「ここを拠点にして、日本刀文化を国内や世界にアピールしていきたい」と抱負を語った。

また、同市の老舗刃物商「刃物屋三秀」(関市小瀬九五〇一)は「刃物ミュージアム」をオープン



刃物屋三秀に設けられた関刃物ミュージアム

NEWS & TOPICS

G-SHOCKのBASELスペシャル、今年のテーマは日本刀

カシオ計算機は3月21日(現地時間)、スイスのバーゼルで開催の時計と装飾の祭典「BASEL WORLD 2018」に合わせて、耐衝撃ウォッチ「G-SHOCK」の特別限定モデル「MRG-G2000HA」を発表した。世界で350個の限定。日本では6月の発売予定で、税別価格は80万円であるという。

MRG-G2000HAは、日本の伝統と匠の技、日本刀の「鉄鐔 Tetsu-Tsuba」をテーマとして、日本古来の強さと美しさを表現。日本刀の鉄鐔は、手を守るという機能に加えて、芸術性の高い意匠も特徴。MRG-G2000HAのベゼルとバンドの中駒は、この鉄鐔をイメージし、植起師の3代目・浅野美芳氏の協力によって「荒し植目」という手法を用いて、1つ1つ手作業で処理している。

伝統の美しさを表現するカラーとして、紫金と素銅をイメージした色を採用。AIP(アーキ・イオン・プレーティング)という神戸製鋼のコーティング技術によって、ケースとバンドに深い色合いをもたらし、力強さの中に高貴な印象を表現した。併せて高い硬度と耐摩耗性を実現している。



高まっている。

日本刀の
江州屋
名品・名刀を販売

店主 小暮 昇一

〒529-1315
滋賀県愛知郡愛荘町香掛80-11
TEL 0749-421-2736
携帯 090-131621-7641
http://www.goushuya-nihontou.com

『刀剣界』は隔月で発行しています。現在、キャンペーン中につき、ご希望の方に3号分を無料で送らせています。組合員・賛助会員以外の方で購読を希望される方は、お名前・送付先・電話・メールアドレス(あれば)を書面でお知らせください。また、お知り合いで刀剣に興味のある方がいましたら、教えてあげてください。(事務局)



岡山県立博物館での「山鳥毛」の展示

新潟県上越市が、購入を目指していた上杉謙信の愛刀で国宝の太刀「山鳥毛」(無銘一文字)を断念したことは本紙三十九号で報じたが、今度は、岡山県瀬戸内市が購入を検討しているという。瀬戸内市によると、今年一月に県内の所有者から譲渡の打診があり、交渉を開始した。国宝の中でも最高峰の一振とされる備前刀を入手するまたとない機会と判断し、四月二十三日に開かれた市議会総務文教委員会で山鳥毛取得の意向を表明した。所有者の売却希望額は五億円。六月の定例会議に、鑑定に関する補正予算案を下げ、有

識者による評価委員会を開き、提示額の妥当性などを協議した後、インターネットで資金を集めるクラウドファンディング型ふるさと納税などにより、資金を調達する。武久頭也市長は「文化財は地域のアイデンティティ。山鳥毛を生まれ故郷で守り、後世に伝えていきたい」と話している。現在は岡山県立博物館に寄託され、年に一回展覧されている山鳥毛だが、瀬戸内市が購入すれば同市の備前長船刀剣博物館が保管・展示することになる。

NEWS & TOPICS

瀬戸内市がふるさと納税で「山鳥毛」を購入か!?



東建コーポレーション本社1階のコレクションルーム

左右田さんは愛知県岡崎市生まれ。織田信長や豊臣秀吉・徳川家康などが天下統一を目指し覇権を競った古戦場が近隣に点在していたため、少年時代から武将たちの足跡を追って、何度も激戦の地を訪れていたそうです。同社は現在、さまざまなスポーツ・文化を支援し、その振興に貢献しています。その

中に、伝統の美と技を伝える甲冑や刀剣を取り上げることには、未来を生きる子供たちが飛躍の糧にしてほしいという願いが込められており、創業以来の理念に基づき芸術文化事業の大きな柱となっています。東京オリンピック・パラリンピックの開催直前の二〇二〇年六月には、同社の運営による美術刀剣博物館「刀剣ワールド」が、名古屋市内に開館する予定です。今後開催される展覧会企画にも注目していきたいと思えます。(嶋田伸志)

NEWS & TOPICS

東建コーポレーションが二カ所に甲冑・刀剣展示室を開設

土地活用をテーマに多角的な事業展開をする東建コーポレーション株式会社(愛知県名古屋市中区、右田鑑徳社長)では、本社と同社の運営するホテル多度温泉(三重県桑名市)のレジデンス新館に、大名家伝来の甲冑や刀剣類を展示し、一般公開しています(入館無料)。甲冑は戦いに赴く武者が晴れの

姿を誇示するともに、場合によっては死に装束ともなるものです。そこで、自分の高い武將が着用する甲冑は、贅の限りを尽くした入念な制作となっています。そこには染織・漆芸・皮革・金工など千年以上も連続と続く工芸技術が結集されており、総合芸術の粋とも言つべきものです。甲冑はあくまで防衛を旨としながらも限りなく華麗であり、戦場において自己を顕示する兜の前立などには、現代のデザイナー顔負けの斬新さを見ることが出来ます。



ホテル多度温泉レジデンス新館の展示室

Table with exhibition information for Chido Museum. Columns include exhibition name, dates, and descriptions. Exhibitions include '見果てぬ空 悠久の刻 前田春治洋画展', 'かたときにつれづれ ~樋渡美智子・樋渡理志展~', '旧鶴岡警察署庁舎保存修理完成記念 第1部 今川浩満が描く明治建築「北国の洋館」', etc.

庄内藩主・酒井家19代で致道博物館副館長. 歴代藩主の冊子出版へ. 郷土の歴史・文化を次代に継承. Includes a photo of the author and detailed text about the book '郷土の歴史・文化を次代に継承'.

旧庄内藩主酒井家美術資料展 3.15(金)~4.15(月) 旧庄内藩主酒井家ゆかりの美術工芸品

アオバ企画(株) 高橋一. Contact information for Aoba Planning Co., Ltd. including phone and fax numbers.

代表 田中勝憲 (株)城南堂古美術店. Contact information for Chunan-do Antiques, including phone and fax numbers.

お知らせ. 昨年七月に北部九州を襲った集中豪雨の被災地をお見舞いする義援金として、大阪・新栄会(吉井唯夫代表、より五万円が寄せられました。ありがとうございます。). 前号の刀剣博物館新築落成記念式典・祝賀会の記事に誤りがありました。正しくは、開会の宣言は福本富雄常務理事、乾杯のご発声は日立金属安来工場長の平野健治氏でした。お詫言して訂正します。

刀剣業界の情報紙である『刀剣界』では、記事を募集しています。ニュースや催事情報、イベント・レポート、ブック・レビュー、随筆・意見・感想など、何でも結構です。写真も添えてください。組合員・賛助会員以外の方も歓迎です。ただし、採否は編集委員会に諮り、紙面の関係で編集させていただくことがあります。

イベント・レポート

研磨と白鞘製作技術をフランス、ポロランド両国で披露

二月六日から二週間、私森井鐵太郎(研師)と弟敦央(鞘師)は、公益財団法人日本刀文化振興



実演に臨む森井鐵太郎さん(左)と敦央さんの兄弟

協会専務理事宮入小左衛門行平先生の推薦を頂き、一般社団法人 TAKUMI WORLD(山崎養世代表)の「日本の伝統工芸作品の修復に関するレクチャー・デモンストラーション欧州巡回」に参加してまいりました。

この度の企画では日本刀のみならず、和紙の増田勝彦氏・金刺潤平氏、漆の松本達弥氏とともに、ポロランド・クラコフの国立日本美術技術博物館(マンガミュージアム)、フランス・コルマルのアルザス欧州日本学研究所(OEJIA)、フランス・パリの国立ギメ東洋美術館の三施設を巡回し、各分野の実演を行いました。

フランスのコルマルでは、旧税関庁の歴史ある建物でコルマル市長にご挨拶を

賜り、パリのギメ東洋美術館では本寺昌人フランス共和国駐在特命全權大使ご夫妻が来場されました。

国内での実演解説とは異なり、通訳をしていただきながら話さなくてはならず、刀剣研磨と鞘製作合わせて百二十分という持ち時間の中で伝えたいことをあらかじめ通訳の方と相談してまとめる必要もあり、神経を使いました。

そこで、最初に日本刀は単なる武器ではないことを伝え、研ぎ・鞘の仕事について、そして修復に関する注意点を解説しました。実演は、自ら欧州内数カ所へ持ち運ぶ荷物の都合上、研ぎは仕上げ(刃艶から刃取りまで)を、鞘は白鞘の修復作業としました。

各会場では、研ぎ・鞘修復ともにすぐ近くまで寄って興味深く見学されたり、時間の都合上お断り



実演前の講義は通訳の協力

しなければならぬほど皆さんの質問をいただいたりと、日本刀への関心の高さを強く感じました。そして漆・和紙・日本刀と各分野とも全ての会場にたくさんの方が足を運んでいただき、大盛況のうちに幕を閉じました。

この度の巡回で、各所の現地スタッフの方々はじめ通訳の方まで、実演のサポートはもちろん、空き時間に街を案内して下さったり、イタリアのお客さまがわざわざパリまで所有の袴を持参して展示のお手伝いまでしてくださったりと、異国の地で人の温かさを感じることができました。

そして、普段は接点のない他分野の漆や和紙の方々と行動を共にし、お互いの実演サポートをしながら見学ができたこと、一緒にお酒を飲みながらそれぞれの仕事の話や意見交換をしながら親交を深められたことが大きな財産となりました。その場になければ感じることができないことも多く、私たちにとても良い刺激となりました。

この貴重な経験を生かし、日本美術の代表とも言える日本刀に携わる研師・鞘師として誇りを持つべきです。今年、反省を来年に向けて修正し、毎年少しずつ内容を充実させていき、最終的には美術品のショーとして世界最高峰と言われているオランダのマスターヒトを、いつか越えたいと思います。(齋藤恒)

春霞刀剣会が前会長追悼刀剣会を開催



追悼刀剣会会場での関係者の皆さん

日本春霞刀剣会の前会長長塚恒之先生ご逝去三年の追悼刀剣展が三月十七日から三月二十五日まで東日本橋の中央区産業会館で開催されました。

日本春霞刀剣会は大正年間創設以来、在銘にこだわり、刀剣の品位にこだわって鑑賞と研究を進めてきた全国組織です。東京本部・青森県支部・秋田県支部・岩手県支部・広島県支部・関西支部・岐阜県支部があり

ます。

今回の展覧は同会に伝えられてきた刀剣ならびに会員所蔵の刀剣を広く公開して、そのこだわり美学の一端を紹介しようというもので、会場には名刀四十振が出品展示されました。

なお、日本春霞刀剣会が湯島天満宮・参集殿で開催する本部例会(刀剣鑑賞会・参加費三千元)にはどなたでも参加できます。次回は五月二十日(日)、次々回は八月二十六日(日)、各午後一〜五時。希望者は当日ご来場ください。事前連絡不要、初心者歓迎です。(松本義行)

大阪歴史博物館で「整の華―光村コレクションの刀装具」を見る

昨年末、根津美術館で開催されました「整の華―光村コレクションの刀装具」が大阪歴史博物館に移って、一月二十七日〜三月十八日に開催されました。

根津美術館での展示中に何度か東京に行く機会がありましたので、時間があれば見に行こうと思っていたのですが、なかなか都合が合わず断念。大阪での開催を待つことになりました。

刀装具を主とした特別展はここ数年に多数催されており、刀剣女子フィーバーなどもあって、どの会場でもたくさんの方が熱心に鑑賞して見せています。

素晴らしい名品の数々が並んでいますが、中でも後藤一乗作聖衆来迎図大小揃金具(重要文化財)は四十年ぶりの公開でひととき存在感があったと思います。



後藤一乗作聖衆来迎図大小揃金具(重要文化財)

松尾月山作鍾馗鬼図大小鐔は、大鐔の表の鍾馗の迫力に圧倒され、小の鐔の鬼にはどこかわいらしさを感ずりました。刀装具は刀の拵の付属金具として生まれましたが、施された細密な仕事や表現、画面の面白さなどは、

賞しておられますが、刀装具を中心にした特別展はあまりなかったかと思えます。しかも、明治期の一大コレクター、光村利藻氏のコレクションを鑑賞できるので、この特別展を楽しみにされていた方も多いと思います。

大阪では刀剣や絵画なども合わせて約二百点が展示されており、根津美術館の所蔵品を中心に数々の名品を鑑賞できました。刀装具に施された細密な仕事を見ようと、私も含め来場客は単眼鏡を持って熱心に見ていました。

大阪では刀剣や絵画なども合わせて約二百点が展示されており、根津美術館の所蔵品を中心に数々の名品を鑑賞できました。刀装具に施された細密な仕事を見ようと、私も含め来場客は単眼鏡を持って熱心に見ていました。

素晴らしい名品の数々が並んでいますが、中でも後藤一乗作聖衆来迎図大小揃金具(重要文化財)は四十年ぶりの公開でひととき存在感があったと思います。

刀剣・宝飾品・高級腕時計・ダイヤ

紀伊国屋

代表 **松浦孝子**

〒372-10812
群馬県伊勢崎市連取町一八三六一
TEL 0270-261777
FAX 0270-261888

今回、大阪の展示の数々を見て、小道具のコレクターの方も、業者の方も、見たかっとな、いや、喉から手が出るほど欲しかったと思っただけの作品が多かったです。

大阪の展示が終わり、今後は佐野美術館での展示が始まりますので、まだご覧にならない方はぜひ、単眼鏡を手に刀装具に施された細密で超絶な仕事を見て、ください。ちなみに、単眼鏡で集中して見る場合は休憩しながら見てください。私は二十分ほど集中して見ていたら少し酔ってしまいました。(大阪刀剣会・橋本宗之)



初めて開催された「日本刀の美」展

四月十四、十五の両日、東京美術倶楽部で特別展『日本刀の美』が開催されました。本展は二年ほど前から七名の委員(永和堂・朝倉忠史さん、飯田

高遠堂・飯田慶雄さん、日本刀剣・伊波賢一さん、泰文章・川島貴敏さん、眞玄堂・高橋正法さん、吉井刀剣・吉井唯夫さん、盛光堂・藤恒)が何度も会合を開き、準備を進めてきたものです。ここでは、私なりに刀剣の展示販売に対する思いや将来像をお話しさせていただきました。刀剣・刀装具の魅力は今までにない新しい形で、既存のお客さまはもとより、この世界をまだ知らない方たちにとり、アピールしていくかを一番のテーマに考えました。十年後、二十年後の愛刀家を今から発掘し、その方たちと一緒に新たな新しい刀剣界をつくっていかなくてはならないと考えています。時には霜剣堂・黒川精吉さん、銀座長州屋・深海信彦さんにもご

催事情報

草雲美術館

〒326-0816 栃木県足利市緑町2-3768 (足利公園内) ☎0284-21-3808
http://www.souun@rhythm.ocn.ne.jp

草雲と刀工たち

栃木県足利市は、足利ゆかりの刀工、堀川国広の脇指「布袋国広」(重要美術品)などの刀剣類を同市の草雲美術館(同市緑町)で展示すると発表した。同市では昨春以降、定期的に日本刀の展示が開催されている。

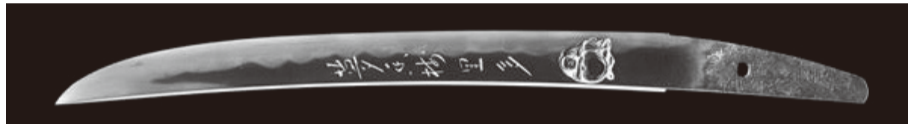
4月からのJRグループの大型誘客事業、デスティネーションキャンペーン(DC)に合わせ、急ぎよ、開催を決めた。同市では、昨年春の「山姥切国広展」以降、季節ごとに日本刀を中心としたイベントを継続的に開催し、官民が連携して地域活性化を図っている。

布袋国広は刃長1尺強で、国広が天正18年(1590)年に足利学校で打

た添え銘があり、布袋像などが彫られているのが特徴。足利領主・長尾頼長のために鍛えた山姥切国広とともに「国広の聖地」とされる足利のシンボルで、刀剣女子に人気が高い。平成元年、足利市民文化財団が取得した。

同館は、江戸時代後期～明治時代に活躍した足利の文人画家・田崎草雲ゆかりの美術館。今回の展示では草雲が所持したとされる冬広の刀や、足利の刀工、源景国が足利学校と銘を入れた刀(県文)なども公開を予定している。

会期：5月19日(土)～6月3日(日) 月曜休館



布袋国広 (足利市教育委員会提供)

奈良県立博物館

〒630-8213 奈良市登大路町10-6 ☎0742-23-396
http://www.pref.nara.jp/11842.htm

特別展「奈良の刀剣―匠の美と伝統―」

世界中で広く愛好されている日本の刀剣。刀剣類は本来の用途として武器の性格を持っていますが、その一方では古くから実用にとどまらない、持つ者の権威や武力、あるいは霊威や神聖性を示す象徴、そして技巧を凝らした工芸の粋としての性格も帯びていました。古墳の副葬品、または宝剣として奉納された刀剣類はその代表とも言えるものですが、刀剣には所有者の守護を祈る象徴、さらには精神的な素養と芸術性をたたえた、美術品としての歴史と文化が伴っています。

本展では、近年特に幅広い世代に関心を高めている刀剣の魅力を、古代から伝わる奈良ゆかりの刀剣、そして現代に活躍する奈良ゆかりの刀匠の活動といった、多彩な角度から刀剣の魅力を紹介します。

会期：4月21日(土)～6月24日(日) 月曜休館



香雪美術館

〒658-0048 兵庫県神戸市東灘区御影郡家2-12-1 ☎078-841-0652
http://www.kosetsu-museum.or.jp/mikage/

没後100年記念「明治の刀工月山貞一～同時代の収集家村山龍平のあゆみ～」

月山貞一(弥五郎、1836～1918)は幕末から大正時代に活躍した刀工です。7歳で大阪の刀工・月山貞吉の養子となった貞一は、16歳の時には父と合作で見事な刀身彫刻を施し、彫刻巧者の片鱗を見せました。古来より奥州出羽月山派に伝わる綾杉肌に新たな伝統を加え、大きな功績を残しました。

廃刀令という苦難の時期に遭遇しますが、その技術は高く評価され、明治39年には刀工で初めて帝室技芸員に任じられました。香雪美術館のコレクションを形成した村上龍平は、月山貞一に刀剣を作らせ、それを鍛えているところを見学にも行っています。

本展では月山貞一の作品を中心に、村上龍平が収集した刀装具コレクションを紹介します。

会期：4月21日(土)～6月17日(日) 月曜休館



新潟市歴史博物館(みなとぴあ)

〒951-8013 新潟県新潟市中央区柳島町2-10 ☎025-225-6111 http://www.nchm.jp/

企画展「キラリ★新潟〈美〉の刀剣展」

当館では平成17年に人間国宝・天田昭次氏の仕事を紹介する展覧会「鉄と日本刀」展を開催しました。今回は初めて刀剣美術を目にする方々にも親しめるように、日本美術刀剣保存協会新潟支部との共催により、同支部会員が所蔵する作品をご紹介します。

本来武器である日本刀は、第二次世界大戦後、連合国軍(GHQ)によって一時接収の対象になりましたが、その美的価値が認められ、世界的にも類例のない優れた美術工芸品として広く認知されてきました。今日では専門家のみならず若年層を中心に愛好家も増え、日本人が継承してきたその独特の鑑賞文化があらためて注目されています。

この展覧会では、支部会員が所蔵する刀剣を中心に、無銘伝吉岡一文字や、無銘元重などの古刀をはじめ、武蔵大掾藤原忠廣などの新刀や新々刀、天田昭次の現代刀など、新潟市内で所蔵される刀身・刀装具約80点を展示します。

会期：4月14日(土)～6月3日(日) 月曜休館



岐阜県博物館

〒501-3941 岐阜県関市小屋名1989 (岐阜県百年公園内) ☎0575-28-3111
http://www.gifu-kenpaku.jp/

現代の刀装職方と金工美濃彫展～匠の技と雅な刀装具～

日本美術刀剣保存協会岐阜県支部は、昭和32年の設立以来、刀剣・刀装・刀装具の研究、保存および交流といった活動に取り組んできました。昨年の「日本刀押形展～幽玄美へのいざない～」の開催に続き、今年度は「現代の刀装職方と金工美濃彫展～匠の技と雅な刀装具～」を開催します。題名の「刀装」とは刀剣の外装であり指のことで、現代の職方(柄巻師・鞘師・塗師・白銀師)が匠の技を駆使して作り上げた刀装19口とその刀身7振、さらに郷土が誇る金工美濃彫(鐔・目貫・縁頭・拵、小柄)の優品55点を一堂に展示します。

会期：4月7日(土)～5月27日(日) 月曜休館



特別企画展「兼定一刀都・関の名工」

関は古くから刃物産地として知られ、中世以来、多くの刀鍛冶が活躍してきました。中でも「関の孫六・三本杉」で知られる兼元と、刀工として初めて受領名を許された和泉守兼定(之定)は美濃刀工の二大ブランドであり、両名跡とも同銘の刀工を輩出しています。

戦国時代以降、優れた作刀技術を請われて各地に招聘された関鍛冶は全国に活動の場を広げますが、兼定は16世紀半ば以降、同名工が会津(福島県)に移って明治に至るまで11代が継承しました。そして、これら兼定名の刀剣は、歴史を賑わせたときどきの勇者名士に愛蔵され、日本史上に彩りを添えてきました。

本展は、現代も「刃物のまち」として知られる刀都・関に兼定作刀が一堂に会する初の機会となります。特に兼定銘きっての名工として知られる之定の作品が県内外から多数出品されるほか、会津兼定の県内でのまとまった公開は例になく、必見です。

会期：4月27日(金)～6月24日(日) 月曜休館



東京藝術大学大学美術館

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 ☎050-5525-2200
https://www.geidai.ac.jp/museum/

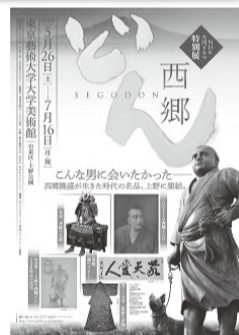
NHK大河ドラマ特別展「西郷どん」

明治維新から150年、2018年の大河ドラマの主人公は西郷隆盛です。

薩摩(鹿児島)の一介の下級武士から身を起し、明治維新を成し遂げた西郷隆盛。しかし、この稀代の英雄には、肖像写真が1枚も残っておらず、その生涯は多くの謎に包まれています。本展覧会は大河ドラマと連動しながら、西郷隆盛ゆかりの歴史資料や美術品などによって、「西郷どん」の人物像と激動の時代を浮き彫りにします。

西郷の風貌を最も忠実に伝えるとされる肖像画や、座右の銘を記した書「敬天愛人」。西郷がその婚礼に尽力した篤姫が所有していた華麗な調度品には、多くの展覧会初公開品が含まれます。また、幕府瓦解のきっかけとなった幕末の最重要史料「討幕の密勅」も登場。そして、あの有名な銅像「上野の西郷さん」の制作過程を物語る新出写真まで、西郷隆盛の魅力のすべてを味わい尽くす展覧会です。

会期：5月26日(土)～7月16日(月・祝) 月曜休館



西郷隆盛所用雲次太刀 (大阪歴史博物館所蔵)

岩国美術館

〒741-0081 山口県岩国市横山2-10-27 ☎0827-41-0506 http://www.iwakuni-art-museum.org/

維新150年記念特別展Part I 「草莽崛起～激動の幕末を駆け抜けた松下村塾生たちの足跡～」

維新150年を記念し、岩国美術館では、多くの逸材を輩出した松下村塾の塾生たちの遺品を多数展示しています。激動の時代を生きた志士たちの足音をぜひご覧ください。

会期：3月1日(休)～5月31日(休)



星と森の詩美術館

〒948-0101 新潟県十日町市稲葉1099-1 ☎025-752-7202
http://www.hoshi-uta-m.jp/

古刀期/新刀・新々刀期/現代の3期に分けて時代の形を追う刀剣展を開催します。

第一弾となる今展では、平安時代～安土桃山時代の古刀期に作られた刀剣11口を館蔵品より展覧します。

古刀期においては、時代と地域の特徴が地や姿に顕著に表れます。ぜひご覧ください。

会期：4月1日(日)～6月3日(日) 火曜休館(祝日の場合は翌日)